

プラチナ展望

マーケットシェアの伸び率で BEV を抜いたハイブリッドと EREV で 自動車の PGM 需要は長きにわたって継続

ドライブトレインの変化でバッテリー電気自動車(BEV)のマーケットシェアが増え、PGM に対する投資家心理は萎縮している。しかし、我々の予測では今後 5 年間の自動車の PGM 需要は年平均で 1.1% で伸びる。PGM 需要が大きく崩れるという見方は誇張されすぎているのではないだろうか。実際、爆発的とも言えた BEV の成長は鈍化しており、ハイブリッド車とレンジエクステンダー式電気自動車 (EREV) の伸び率に大きく水をあけられている。プラチナを使うこの二つのタイプの自動車の成長は、自動車のプラチナ需要が「より多く、より長く」続くという見通しを支えることになるだろう。

世界の BEV 需要は中国、欧州、米国で 9 割を占めるが、昨年第 1 四半期に前年比で 20% 増えたこれらの地域の BEV 販売高は、今年の第 1 四半期には前年比 7% 増に落ち込んだ。一方でハイブリッド車は、2024 年第 1 四半期の前年比 38% 増加 (昨年同期の増加は 32%) (図 3)となり、マーケットシェアの伸び率は BEV を抜いた (図 4)。ハイブリッド車の伸びが示しているのは、消費者は脱炭素化のためにプレミアムを払うには払うが、BEV の航続距離や充電に関わる問題は無視できないということだ。多少高くても不便さに妥協しないで済む電気自動車ならば購入するという消費者の選択は、特に中国で人気が出ている EREV にも見られる。EREV はプラグイン電気自動車だがバッテリーの充電用として小型エンジンを搭載し、バッテリーの残量が少なくなるとエンジンを使うプラグインハイブリッド車とは異なる。中国では EREV が新エネルギー車の中で最速で伸びており (図 1)、BEV の約 300 キロに対して約 1000 キロという航続距離と充電の心配がないという売りで、2024 年は 100 万台を超えると見られる。

Edward Sterck
Director of Research
+44 203 696 8786
esterck@platinuminvestment.com

Wade Napier
Analyst
wnapier@platinuminvestment.com

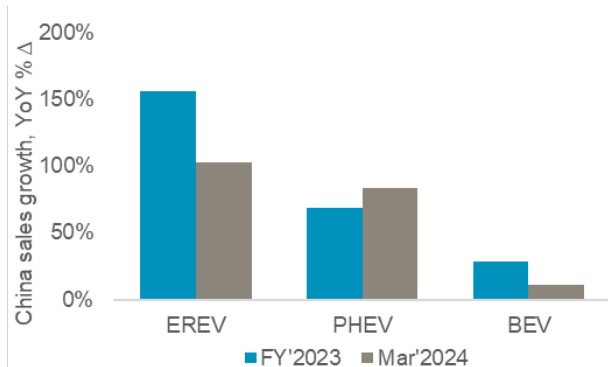
Jacob Hayhurst-Worthington
Associate Analyst
jworthington@platinuminvestment.com

Brendan Clifford
Head of Institutional Distribution
+44 203 696 8778
bclifford@platinuminvestment.com

World Platinum Investment Council
www.platinuminvestment.com
166 Piccadilly,
London, W1J 9EF

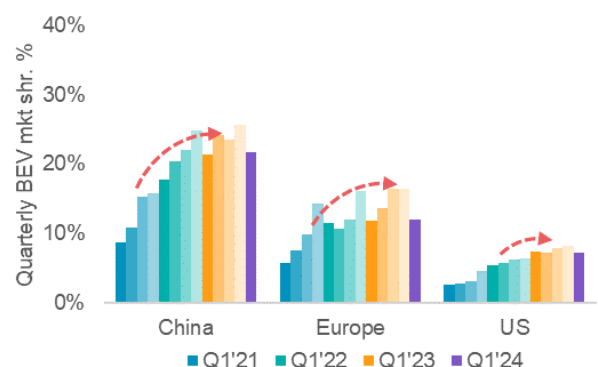
2024 年 5 月 2 日

図 1: PGM を使う EREV は急速に伸びている



出典: 中国経済観察新聞、WPIC リサーチ

図 2: 純粋な BEV のマーケットシェアは伸び悩み



出典: 中国自動車工業協会, 欧州自動車工業協会, プルームバーグ、WPIC リサーチ

EREV のみの分析はしていないが、航続距離がより長い電気自動車を待ち望む消費者や、大きな妥協せずに脱炭素化に参加したいエンジン車を持つ消費者からの乗り換え需要に期待できるかもしれない。EREV は米国市場でも受け入れられる素地がある。というのは米国の排ガス規制は技術的な違いを考慮に入れないため、車の寿命期間中の排ガス量がエンジン車の 3 分の 1 である EREV は魅力的であること、米国はもともと BEV の普及率約 7% と他の地域よりも低い(図 2)からだ。特にステランティス、米国の自動車市場で大きな位置を占める 2025 Ram ピックアップトラックで EREV モデルを発表していることは注目に値する。

我々は 2030 年までに BEV のマーケットシェアは 31% となりエンジン車の多くはハイブリッド車になると予測している。BEV のシェア伸び率が鈍化 (図 7) し、ハイブリッドと EREV を含むエンジン車のシェアが今までの予測を上回るという見通しが我々の楽観的な自動車の PGM 需要予測を支えるが、他の市場関係者が予測する BEV 普及率は我々よりも高い。普通乗用車 BEV とエンジン車のマーケットシェアの 1% の違いは 1 年間のプラチナ需要 0.8 トンとパラジウム需要

3.1 トンに相当し、これが 2025 年から 2028 年のプラチナ市場は約 13.4 トンの供給不足という我々の予測の根拠になっている。

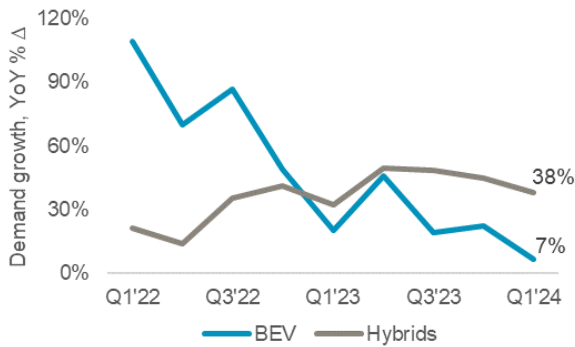
BEV 需要の伸びは 2023 年第 1 四半期の 20% から、2024 年同期は 7% に鈍化し、ハイブリッド車の伸び 38% を大きく下回った

自動車の PGM 需要の崩壊は誇張されすぎで、2023 年から 2028 年の需要の年間伸び率は 1.1% の予測

投資資産としてのプラチナ

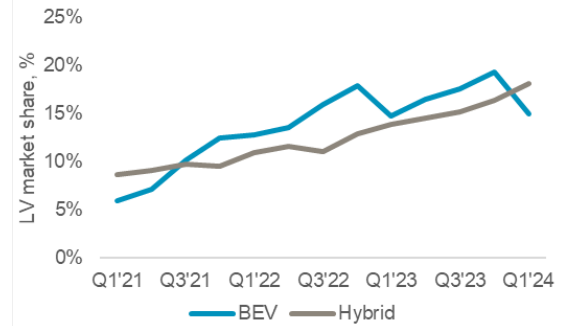
- WPIC のリサーチによるとプラチナ市場は2023年から供給不足が続く
- プラチナ供給は南アの電力問題とリサイクル供給で問題多い
- 自動車のプラチナ需要は主にガソリン車の代替需要で今後も成長期待できる
- 水素関連のプラチナ需要は少ないが、将来のプラチナ需要の大部分を占める
- プラチナ価格はゴールドに比べて安い期間が続いている

図 3: BEV 需要の伸びは鈍化。政府の補助金が減っていることと、エンジン車から BEV に乗り換える第二波の消費者を説得する難しさを表している



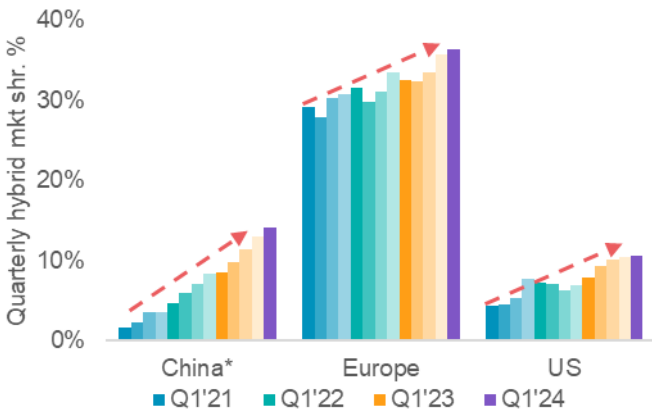
出典: ブルームバーグ、WPIC リサーチ、中国・欧州・米国市場の累積

図 4: ハイブリッド車のマーケットシェアは徐々に回復し 2024 年第 1 四半期は BEV を抜いた



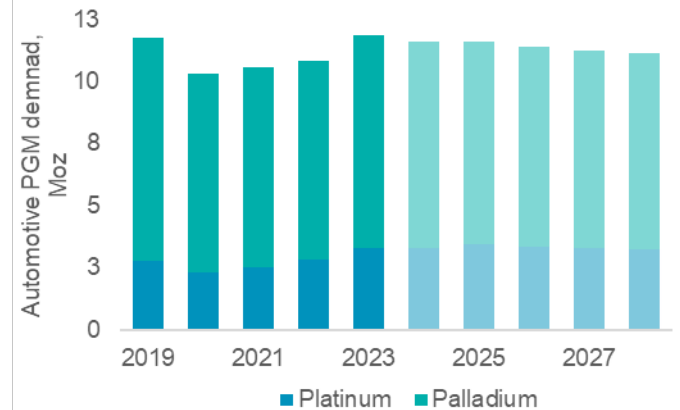
出典: ブルームバーグ、WPIC リサーチ、中国・欧州・米国市場の累積

図 5: 普通乗用車ハイブリッド車の安定したマーケットシェアの伸び率は自動車の PGM 需要が 2030 年代終わりまで続くことを示す



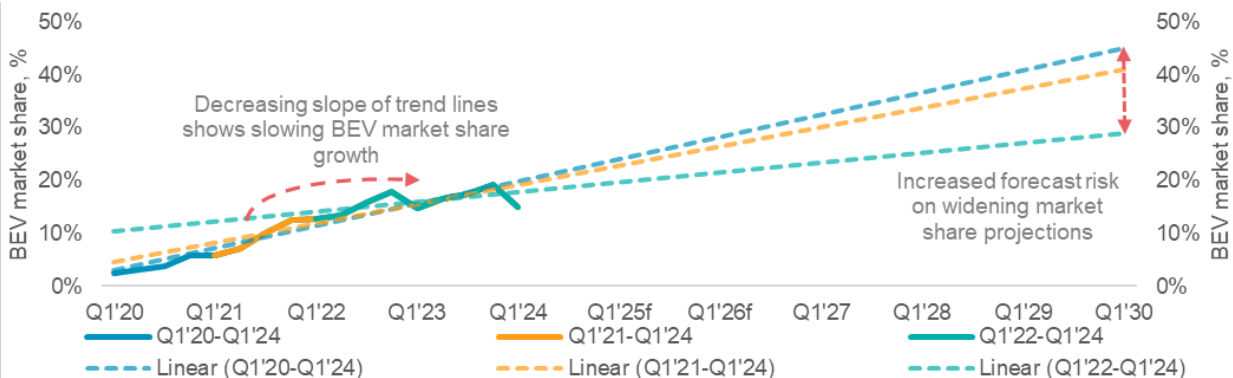
出典: 中国自動車工業協会、欧州自動車工業協会、ブルームバーグ、WPIC リサーチ
*中国のデータはプラグインハイブリッドのみ

図 6: BEV のマーケットシェアが伸びてもドライブトレインのハイブリッド化は自動車の PGM 需要がより多くより長く続くことを示す



出典: メタルズフォーカス (Pt: 2019 年～ 2024 年予測、Pd: 2019 年～ 2022 年、WPIC リサーチ)

図 7: BEV の伸び率の鈍化で右肩上がりに増えるとされた予測が変わり、2020 年から 2021 年に見られた直線的な増加ではなく予測は不透明に。現在の BEV のマーケットシェアの伸び率だと 2030 年には約 30% に。(2021 年の時点の伸び率だと 45% になるとされていた。)



出典: 中国自動車工業協会、欧州自動車工業協会、ブルームバーグ、WPIC リサーチ、中国・欧州・米国市場の累積

免責条項: 当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime 及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネージャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。